



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

7/2017
(通算 686 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

チーム医療を効率的に実践するために



公益社団法人京都府放射線技師会会長 河本 勲則

7月、新入職の技師さんにとっては、研修期間も終わりそろそろ診療放射線技師として独り立ちする季節です。4月から業務実践の為にいろいろなカリキュラムで研修が行われ、診療放射線技師として必要とされる技術や知識、そしてコミュニケーションスキルを身につけられたと思っています。

1日の始まりは、挨拶からと言われています。挨拶は、コミュニケーションを行うための「きっかけ」となります。そのため、人間関係を構築する上で重要な言葉であり、相手に自分の存在をアピールできます。いい加減な挨拶、コミュニケーションは、「社会的な絆」、困ったときにお互い助け合いの気持ちが受け入れられなくなり、それは患者さんに影響します。相手から無視されても自身は、しっかり挨拶することで「いざ」と言うときに助けてもらえますし、自身の心や感情をコントロールすることができると思います。

さてチーム医療の中で診療放射線技師が効率的に業務を行うためには、コミュニケーションが必要です。コミュニケーションは、ラテン語が語源で「他人と共有する」という意味でギリシャ時代にアリストテレスが行った「レトリック」に関する研究で、孔子も「論語」を記しています。主にアメリカで発達した学問と言われています。

人間関係を良好にし、互いに意見を言い合える関係を築くためのコミュニケーションの1つに「アサーション」があります。このコミュニケーションは、自分の気持ちや意見を適切にかつ明確に自己表現し、自分と相手を尊重して意欲や動機を導き、お互いのスキルを向上するトレーニングです。

その中に DECS 法と言われるものがあります。1. **Discrib** 思い込みではなく、起きている事象、事実を客観的に整理して伝える。2. **Explain** 自分の本音、私の気持ちや感情を伝える。3. **Specify** 提案や意見、要求をどうすべきか考え伝える。4. **Choose** NOと言われた場合の代替案を用意し、伝え考えてもらう。という方法です。簡潔にしますと「自分を主張する、でも自分の意見を押し通すのではなく、相手を尊重しながら対等に素直に自分の意見を述べて、相手と共通の解決策を見つけるコミュニケーションスキルです。要するに自分を大切にすることで、相手の考えや行動が受け入れられ、より深い人間関係が築けることであると思います。一度、皆さんの職場でも「アサーショントレーニング」を行いチーム医療の中での人間関係を良好にして、安全、安心な医療の提供に心がけてください。

厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 河本 勲則

平成 29 年 6 月 2 日、日本診療放射線技師会創立 70 周年記念式典において、永年により診療放射線業務の発展向上に貢献し、保健医療行政の推進に顕著な功績のあったものに対して、前副会長 北村 真氏（明治国際医療大学附属病院）が厚生労働大臣表彰を受賞されました。受賞おめでとうございます。

北村氏は、永年、当会の副会長として、定例研修会や近畿地域診療放射線技師会学術大会、第 31 回日本診療放射線技師学術大会の開催等に尽力され、本会の伝統と発展に多大な功績を残され、厚生労働大臣表彰者として京都府放射線技師会より推薦いたしました。

今後も、京都府民の健康増進と医用放射線の安全性や必要性の啓蒙に尽力され、診療放射線技師の地位向上と業務拡大の推進、技師教育への協力をお願いいたします。

北村 真氏の益々のご活躍とご健勝を祈念し、心よりお慶び申し上げます。



日本診療放射線技師会功労表彰受賞おめでとうございます

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 河本 勲則

平成 29 年 6 月 3 日、日本診療放射線技師会第 78 回定時総会において、轟 英彦監事が、日本診療放射線技師会近畿地域理事として 2 期 4 年間努められました功績に対して、功労表彰を受賞されました。受賞おめでとうございます。

近畿地域診療放射線技師会の代表として、近畿 2 府 4 県を統括し、診療放射線技師の地位向上と業務環境の改善や第 31 回日放技学術大会の準備、開催など、近畿リーダとして熱き思いをもって活動されました。大変ご苦勞様でした。

轟 監事の益々のご活躍とご健勝、ご家族様のご多幸を祈念しまして、心からお慶び申し上げます。



第 567 回研修会のお知らせ

今回の研修会は、テーマ発表とともに、若手と学生による発表の場を企画いたしております。

会員の皆様におきましてご多忙のこととは存じますが、多くのご参加をお待ち申し上げます。

日時：平成 29 年 8 月 3 日(木) 18:30～

場所：京都アスニー 第 3 研修室

会費：無料（技師会会員及び学生）、非会員 500 円

予定内容：

テーマ発表：「心臓 CT の基礎」

三菱京都病院 放射線技術科 瀬戸 一誠 先生

一般演題発表：「FCR システムによる曲面への電子線照射についての基礎的検討」

京都医療科学大学学生 田中 章、北村 慎太郎、山本 隆信

京都医療科学大学 河村 正 先生

京都府立医科大学附属病院 中田 克哉先生、村松 正寛先生

「人工知能による胸部腫瘍陰影認識」

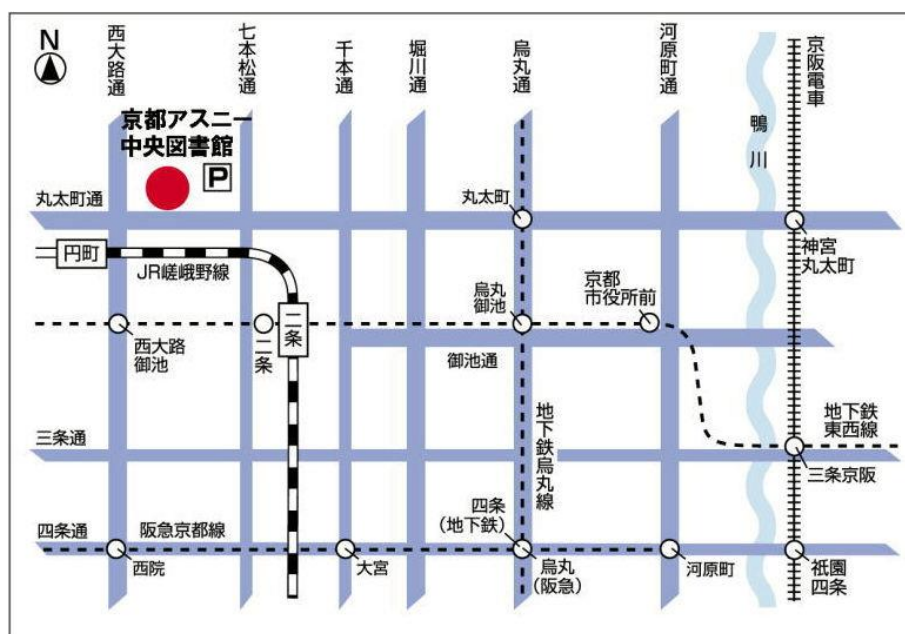
京都医療科学大学学生 星野 彰

京都医療科学大学 赤澤 博之 先生

他演題調整中

主 催：公益社団法人 京都府放射線技師会

連絡先：学術担当 後藤 正（済生会京都府病院 放射線科 075-955-0111）



平成 29 年度両丹地区夏季研修会（第 568 回研修会）のご案内

両丹地区理事 小川 武

平成 29 年度両丹地区夏季研修会を下記要領にて開催致します。

ご多忙の折とは存じますがお誘い合わせの上、多数ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：平成 29 年 8 月 26 日(土) ～ 8 月 27 日(日)

場所：舞鶴商工観光センター（〒625-0036 京都府舞鶴市字浜 66 TEL 0773-64-6800）

会費：会員無料、非会員 1,000 円

8 月 26 日(土)

13:00 受付開始

13:30 開会挨拶

13:45 研究発表（1 年～3 年目の診療放射線技師）（8 演題予定）

講演【明日から役立つ撮影技術と知識】

15:30 CT 講演

診断に役立つ CT 画像とは？

～ 読影補助が出来る放射線技師さんを目指しませんか？ ～

滋賀医科大学附属病院 牛尾 哲敏 氏

16:30 Dr.講演

整形外科医が放射線技師に求めるもの 舞鶴共済病院 野口 学 先生

8 月 27 日(日)

9:15 研究発表（10 演題予定）

講演【明日から役立つ撮影技術と知識】

11:15 MRI 講演

あすから役立つ?! 短時間でわかる MRI の読影補助

大阪赤十字病院 高津 安男 氏

12:45 閉会挨拶

8 月 26 日(土) 夜の部

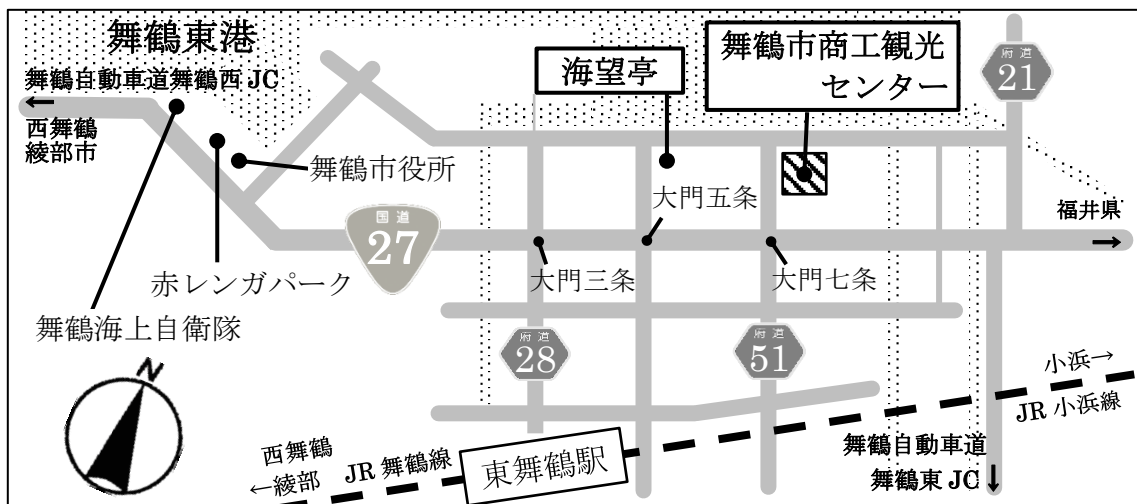
19:00 より海望亭（会場から徒歩 2 分）で懇親会を開催します。

会費は 5,000 円です。

参加される方は 8 月 16 日までに両丹地区理事（小川）までご連絡ください。

連絡先：両丹地区理事 小川 武（舞鶴共済病院放射線技術科 TEL 0773-62-2510）

宿泊希望される方は各自で予約をお願いします。



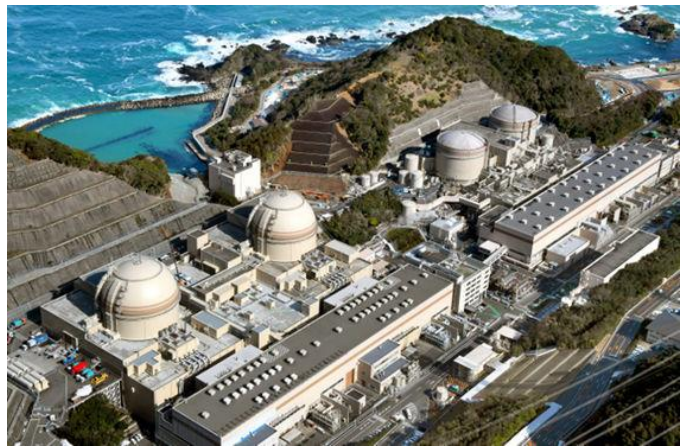
関西電力の協力による大飯原子力発電所視察に参加して

管理士会 山根 稔教

今回、兵庫県放射線技師会の後藤様の働きかけで、近畿地区の放射線管理士を対象に関西電力の全面的協力のもと大飯原子力発電所を視察する機会が設けられました。この視察は日頃、放射線災害時の対応を担う放射線技師会に限定され、特殊な場所まで見学できる非常に貴重なもので 10 名の参加者があり京都府放射線技師会からは 3 名が参加してきました。施設等の構造、安全管理、放射線管理がどのように行われているかを視察し、万一原子力発電所から放射線災害が起こった時の対応に役立てることを目的に開催されました。

5 月 25 日の当日は、朝、大阪駅に集合しバスで福井県の大飯原子力発電所に向かいました。バスの中では原子力発電の原理に始まって、電気の発電供給状況、原子力の発電事情や状況等を DVD 映像で講習を受け昼前に大飯原発 PR 館へ到着しました。ここで昼食を取り、その後広報や放射線管理の担当者の方から大飯の原子力施設や原子力発電の現状、放射線管理等の説明を受け ER 館にある原子炉の模型を見学しました。施設内へはこの ER 館から専用のバスで向かいます。貴重品や携帯電話、カメラ、電子機器は持ち込めないためこちらの施設に置いておき、身分証明書を提示し許可を得てバスに乗り込みました。バスはトンネルを超えセキュリティゲートで再びチェックを受け、許可されて施設内に入りました。原子力発電所施設には 500 人程度の関西電力の職員が働いておられ関連機関の方を含むと 1,000 人程度の方がおられるようです。バスを降りタービン建屋内から見学しました。稼働中は大きな音がするそうですが、視察時は定期点検中で停止しているため静かでした。次にテロ等に備えた硝煙チェックを受け許可後に中央制御室をガラス越しに見学しました。制御室の業務は 5 班に分かれ 24 時間体制でおこなわれ班長になるには数十年の業務実績がいるとのことでした。次は管理区域内に入つての見学でした。つなぎの作業着に着替え放射線測定個人モニターを装備し入室チェックを受け管理区域に入りました。ここからは、普段入れない場所で原子炉があるドーム状の施設に入りました。想像以上に分厚い壁でおおわれており中には大きなクレーンが天井に装備され多くの方が作業されていました。ドーム内の高台から施設内全体を見渡し核燃料の抜いてある炉心近くも見学ができました。大きな空間に大規模なシステムがあり想像以上のスケールでした。また数か所に水素の発生がチェックできるシステムがありました。福島第一原発の事故にて建屋内で水素爆発が起こったことからの対策だそうです。この後、使用済み核燃料が貯蔵してあるプールの建屋を見学し最後に汚染チェック、放射線被ばく線量のチェックを受け管理区域の見学を終えました。この後バスに乗り込み構内一巡（取水口、防波堤、海水ポンプ、トレンチ等）を見学し施設内を後にしました。帰りのバスでは関西電力の方がいろいろな質問に答えていただきました。

今回の視察を終えて、原子力発電所の大規模な施設、原子炉建屋の頑丈な設備、徹底したセキュリティーチェックと放射線管理が行われていることが実感できたことは貴重な経験となりました。放射線災害対応、放射線管理等を行っていくうえで今後役立てていきたいと思っております。今回ご尽力いただきました兵庫県放射線技師会後藤様、全面的にご協力いただいた関西電力の皆様へ感謝申し上げます。



両丹地区春季研修会報告

両丹地区理事 小川 武

両丹地区春季研修会を昨年度からシリーズ化している読影補助に関する内容で市立福知山市民病院にて開催しました。3名による発表で参加者は42名でした。

市立福知山市民病院放射線科 島田 昌典

上腕の浮腫にて上大静脈から上腕の静脈還流障害を疑った症例において、放射線科医の鼠径穿刺によって造影 CT 検査を施行し、鎖骨下静脈血栓を発見した症例について発表した。また鼠径穿刺を毎回するわけにはいかないため同じような検査を施行する場合にどのような撮影したらいいかなどを会場内でディスカッションした。

子宮外妊娠破裂による腹腔内出血の確定診断についての報告

舞鶴共済病院放射線技術科 櫻井 勝則

卵管間質部妊娠による卵管破裂で腹腔内出血を起こした症例を経験した。

子宮外妊娠は受精卵が着床する部位によって大きく4つに分類されているが、98%が卵管妊娠でそのほとんどで胎盤が形成出来ず流産となる。間質部妊娠は、全卵管妊娠の中でも2%と稀な症例であり筋層内で胎嚢が大きくなるため太い血管の多い着床部が破裂して大出血を引き起こすことがあり、今回の症例でも開腹時の出血量は約3,000mlであった。造影 CT により帝王切開の瘢痕部妊娠か卵管妊娠の破裂による腹腔内出血という診断で、緊急手術による止血が必要であった。卵管妊娠破裂であれば卵管を結紮し卵巣摘出術となり、帝王切開の瘢痕部妊娠破裂であれば子宮摘出術となるため、出血箇所の診断が術後の QOL に大きく影響する。産婦人科医から開腹前に造影 MR の依頼があり、その結果卵管間質部からの出血と断定され、子宮を残し卵管切除術による止血となった。

今回は腹腔内出血で緊急手術による止血を必要としたが、子宮外妊娠の好発箇所と骨盤内の解剖を熟知した上で撮影を行い、正確な出血箇所が診断可能な画像を医師に提供することで、術後の QOL を高めることが出来ることを再認識した症例であったので報告した。

MRI 検査での圧迫骨折、破裂骨折、脊椎転移の画像上の違いを理解する

綾部市立病院医療技術部放射線科 村上 昭彦

MRI 検査で圧迫骨折、破裂骨折は急性期では椎体の浮腫や出血を反映して T1WI 低信号、T2WI、脂肪抑制 T2WI で高信号を示すまた脊椎転移も腫瘍性変化に伴い同じような信号変化を示すために診断に苦慮する事がある。圧迫骨折は転倒や重い物を持った時、破裂骨折は高所からの転落などが受傷の起点と異なる。しかし骨粗鬆症症例では圧迫骨折から破裂へと進行する症例もあり、破裂骨折の場合は不安定性が高く神経症状を伴う場合もある。画像上の違いは圧迫骨折場合の椎体後面が直線状に対し破裂骨折では凸状に描出されることである。また画像形態上も似ている転移性骨腫瘍と破裂骨折との鑑別のポイントは、

- 1) 椎体の信号は病的骨折では信号強度は時期を問わず常に異常。(破裂、圧迫骨折では数カ月で正常化)
- 2) 椎体背面の形状：病的骨折では背側に凸な円弧状(圧迫骨折では直線状)
- 3) 後方要素への進展：病的骨折は椎弓、棘突起に進展する(破裂、圧迫骨折の場合はほぼ正常な事が多い)。
- 4) 拡散強調画像(DWI)で高信号
- 5) IN/OUT 画像で信号比が低い(正常脊椎は脂肪を含むために信号比が高い)
- 6) 造影で急速な造影効果がある

第 3 回理事会報告

平成 29 年 6 月 10 日

議長に平井理事、書記に若畑理事を選任し午後 4 時より議事開始

I. 経過報告及び計画に関する件

1) 経過報告および計画 河本会長

- (経過報告)
・5月15日 医療推進協議会代表者会議 (京都府医師会館)
・5月24日 両丹春季研修会 (市立福知山市民病院)
・5月26日 健康づくり協議会事業会議 (健康づくり協議会)
・組織調査委員会 (京放技事務所)
・南地区委員会 (京都医療センター)
・5月29日 学術委員会 (京放技事務所)
・6月2日 日本診療放射線技師会創立70周年記念式典&祝賀会 (パレスホテル東京)
・6月3日 日本診療放射線技師会第78回定期総会 (東京日経ホール)
・6月10日 京放技第3回理事会 (京放技会議室)
・6月11日 第52回京都病院学会 (池坊短期大学)
・6月22日 北地区委員会 (京都府立医科大学附属病院)
・7月2日 フレッシュアップセミナー、第566回研修会、全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い (ホテルセントノーム京都)
・7月7日(金) 京放技第4回理事会 (京放技会議室)
・7月30日 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会 (京都府立医科大学附属看護学舎)
・8月3日 第567回研修会 (京都アスニー)
・8月4日 平成29年度第1回常務理事会 (京放技会議室)
・8月26・27日 両丹夏季研修会 (第568回研修会) (舞鶴商工観光センター)
・9月2日 平成29年度近畿会長副会長会議予定 (大阪府診療放射線技師会事務所)
・9月3日 線量計校正研修会 (京都医療科学大学)
・9月9日 京放技第5回理事会 (京放技会議室)
・9月15日 京都府立入検査 (京放技事務所)
・9月22~24日 第33回日本診療放射線技師学術大会 (函館市民会館・函館アリーナ)
・10月13日(金) 京放技第6回理事会 (京放技会議室)
・10月15日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会野球大会 (山城総合運動公園)
・10月28日 平成29年度中間監査予定 (京放技事務所)
・10月29日 基礎技術講習「CT検査」(京都府立医科大学看護学舎)

2) 各委員会報告及び計画

- 【庶務】 皿谷理事
・会員数 5月31日現在 532名 (先月±0)
(内訳) 名誉会員5名・正会員502名・賛助会員25社
再入会1名、転出1名
※平成29年度新入会累計1名(再入会1名含む)
・5月1・4・15・16・21・30・31日 委員会開催 (京放技事務所)
・対外文書101件、発刊文書7件(5月1~31日)
・新卒入会2名、新入会5名の承認
【財務】 渡里理事
・会費納入状況(平成29年5月末日現在)
平成29年度会費納入者202名(40%)
平成28年度会費未納者15名(3%)
・会費114万円、賛助会費27.5万円、広告費12万円入金
・5月13、22、30日 委員会開催 (京放技事務所)
【学術】 後藤理事
・5月8日 第566回学術研修会・フレッシュアップセミナー打合せ (ホテルセントノーム京都)
・5月26日 全地区委員会、フレッシュアップセミナー、フレッシュ診療放射線技師の集い案内作成作業 (京放技事務所)
・5月29日 学術委員会 (京放技事務所)
・7月2日 第566回学術研修会、フレッシュアップセミナー開催予定 (ホテルセントノーム京都)
・8月3日 第567回学術研修会開催予定一学生合同夜開催一 (京都アスニー)
・10月29日 基礎講習「CT検査」開催予定 (京都府立医科大学)
・2月 学術大会、府民公開講座開催予定
【編集】 中島理事
・5月25日 近畿管理士会企画 大飯原発見学会参加 6月号ニュース校了
・6月10日 京都病院学会準備予定 (池坊短期大学)
・6月11日 京都病院学会出席予定 (池坊短期大学)
【広報・渉外】 新井理事
・5月10日 「くらしと健康展実行委員会」出席 (京都府医師会館)
・5月11日 京都府健康福祉部から補助金の交付決定通知 (京都医療センター)
・5月26日 南地区委員会出席 (京都医療センター)
・6月6日 「病院学会実行委員会」出席 (京都私立病院協会会議室)
・6月10・11日 「第52回京都病院学会」開催予定 (池坊短期大学)
・7月4日 「病院学会反省会」出席予定 (京都私立病院協会会議室)
・10月29日 「第44回くらしと健康展」開催予定 (京都府医師会館)
・11月8日 「くらしと健康展反省会」出席予定 (京都府医師会館)
【組織調査】 蒲理事
・5月8日 ホテルセントノームにて打ち合わせ
・5月11日 組織調査委員会開催 (京放技事務所)
・5月25日 地区委員宛てアンケート配信依頼
・5月26日 新卒者への入会案内等発送作業実施 (京放技事務所)
・6月11日 京都病院学会に座長で出席予定 (池坊短期大学)
・6月22日 北地区委員会出席予定 (京都府立医科大学附属病院)
・7月2日 全地区委員会開催予定 (ホテルセントノーム京都)

【厚生】 中川理事 (庶務理事代読)

- ・5月26日 フレッシュ診療放射線技師の集い案内発送作業 (京放技事務所)
・7月2日 フレッシュ診療放射線技師の集い (ホテルセントノーム京都)
・10月15日 近畿地域放射線技師会野球大会 (山城総合運動公園)
・1月21日 近畿地域放射線技師会囲碁大会 (兵庫県県民会館)
【情報】 大西理事
・5月15日 ホームページのトップページ更新 (京都医療センター)
・5月26日 南地区委員会出席 (京都医療センター)
・5月29日 学術委員会出席 (京放技事務所)
・6月1・7日 ホームページのトップページ更新
・6月11日 京都病院学会座長出席予定 (池坊短期大学)
・6月14日 西南部地区委員会出席予定 (枚方市)
・7月2日 全地区委員会・フレッシュ診療放射線技師の集い参加予定 (ホテルセントノーム京都)
・7月16・17日 業務拡大に伴う統一講習会参加予定 (舞鶴医療センター)
・8月3日 第567回学術研修会出席予定 (京都アスニー)
【管理士】 山根理事
・5月25日 近畿地区管理士による関西電力大飯原子力発電所視察
・6月11日 京都病院学会座長出席予定 (池坊短期大学)
・9月3日 線量計校正研修会開催予定 (京都医療科学大学)
【両丹学術】 橋岡理事
・5月24日 両丹地区春季研修会 (市立福知山市民病院)
・6月11日 京都病院学会参加予定 (池坊短期大学)
【受賞者選考委員会】 河本会長
・6月2日の日放技70周年記念式典にて北村真前副会長が厚生労働大臣表彰を受賞
・6月3日の第78回日放技総会にて轟監事が日放技功労賞を受賞

II. 地区経過報告及び計画に関する件

- 1) 【北地区】 丹後理事 (庶務理事代読)
・5月11日 診療放射線技師業務に関する調査について再配信
・5月24日 全地区委員会アンケートについてメール配信
・5月25日 地区連絡メール配信
・5月30日 委員会開催の案内メール配信
・6月22日 委員会開催予定 (京都府立医科大学附属病院)
2) 【中地区】 檜理事
・5月1日 水晶体被ばく低減に関する注意喚起のメールを配信
・5月11日 診療放射線技師業務アンケートを日放技に提出
・5月12日 お知らせ等配信
・5月23日 研修会案内等配信
・5月24日 地区委員にアンケートの依頼を配信
・6月5日 組織調査委員会へのアンケートを送付
・6月10日 京都病院学会準備予定
・6月11日 京都病院学会出席予定
3) 【東地区】 中川政幸理事 (庶務理事代読)
・5月27日 MRI アンケート、研修会案内送付
・5月30日 連絡網確認
4) 【西地区】 平井理事
・西地区委員会開催のため数回にわたりメールでの調整
・6月に西地区委員会開催予定
5) 【南地区】 若畑理事
・5月24日 全地区委員会アンケート送信
・5月26日 委員会開催 (京都医療センター)
6) 【両丹地区】 小川理事
・5月24日 両丹地区春季研修会(42名参加) (市立福知山市民病院)
・8月26・27日 京放技夏季研修会 (舞鶴商工観光センター)
・夏季研修会予算案を承認
7) 【西南部地区】 松本理事
・5月23日 地区委員会の日程調整をメールにて送信
・5月31日 地区委員会開催の案内をメールにて送信
・6月14日 第1回西南部地区委員会開催予定 (枚方市)

III. その他

- 1. 全国会長・副会長会議報告 (久保田会長)
業務拡大に伴う統一講習会は今年度も1万人の受講を目指す。指定規則について、画像診断・技術学を4単位追加し、実習を12単位に増やし、現状95単位を102単位に増やすように厚労省に審議要望を行う。診療放射線技師育成について、現状、全国にある育成校46校中33校が大学であり、77%の学生が学士教育を受けている。4年教育が当たり前の時代に、6年教育を基礎教育にしていきたい。その後の表彰で轟監事が功労表彰を受賞。
JIRA 野口氏により平成30年の診療報酬改定についての講演が行われた。野口氏によると、機器による改訂ではなく画像精度管理に関する改訂が行われるであろうとのこと。
2. 会員資格停止処分を受けた方の再入会について (皿谷理事)
20年前に会員資格停止された方から再入会申し込みがされている。本来であれば当時の未納会費2年分を納入していただくところであるが、20年前となると民法で債務放棄が認められている。今でも会員資格停止者の再入会には未納会費を納入していただいているので、今回を特別扱いすると不公平になる。未納会費を請求することで承認。
3. 京都府放射線技師会雑誌(年報)の編集について (河本会長)
平成28年度京都府放射線技師会雑誌では協賛企業の名前が間違っていたことが指摘された。総会で承認されている決算も掲載されており、公益社団法人としてあってはならないミスであった。今後は年度末に委員会を立ち上げて多数の人員で監修を行っていくようにする。

以上、各議案について採択し承認された。(文責：若畑旬弥)

編集後記

小池東京都知事が豊洲・築地市場移転問題で対立する移転派と反移転派の中間的決定を発表した。本当にこれでいいのか？計画通りに実行できるのか？という疑問はともかく、多くの人間がかかわることを決定するのは容易でない、ということがよくわかる事例であると思う。あちらを立てればこちらが立たず・・・の言葉通り、小池都知事はこの決定に至るまで試行錯誤を繰り返していたはずだ。それは小さな組織内でも同じことが言えると、ある程度の年齢になれば社会人として知っていなければならない。役職が付き、部下を持つようになると部署内でも皆に公平に、他部署とも仲良く運営していこうと思うと、なかなか難しい。非難をする前に相手の立場になって考えるようになってくると、対立が起こったときには、まあまあまあ・・・と双方をなだめるしかない。それが頼りない上司と思われるか、うまくまとめてくれたと思われるかは、普段から部下の意見に耳を傾けているかどうかで大きく変わることには気が始めたのは、中年の証だろうか。

編集委員会 中島 智也

求人のお知らせ

福知山市の病院で求人があります。
詳しくは京都府放射線技師会事務所までお問い合わせください。

▶ 7月以降の京放技活動

| | | |
|----------|---|--------------|
| 7月2日(日) | 全地区委員会、第566回研修会、フレッシュ診療放射線技師の集い、フレッシューズセミナー | ホテルセントノーム京都 |
| 7月16・17日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | 舞鶴医療センター |
| 8月3日(木) | 第567回研修会(学生合同) | 京都アスニー |
| 8月26・27日 | 両丹地区夏季研修会(第568回研修会) | 舞鶴商工観光センター |
| 10月7・8日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | 京都府立医科大学看護学舎 |

▶ 7月以降の京都府以外での近隣講習会

| | | |
|----------|--------------|---------------------------------|
| 7月1・2日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | 大阪がん循環器病予防センター |
| 7月8・9日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | 彦根市立病院 |
| 7月16・17日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | 奈良県立医科大学蔵書館 和歌山市中央コミュニティセンター |

会 員 異 動

【新卒入会】2名

守口 聖人 国家公務員共済組合連合会枚方公済病院(西南3) 他1名

【新入会】5名

関戸 つばさ 済生会京都府病院(西4) 他4名